

葛川小中学校だより

葛川小・中学校 学校だより 令和2年 6月号 在籍児童・生徒数 35名 6月29日発行

学校再開……感染防止対策

約3ヶ月ぶりに、子どもたちの元気な学校生活に戻ってきました。感染リスクを最大限に抑えながら、様々な対策を講じての学校再開です。これまで、「より良いものにしよう」と積み上げてきた「昨年同様に実施」という言葉が通用しなくなりました。1つ1つの教育活動において、子どもの命と安心・安全が守られ、「子どもにどんな力をつけるために行うのか」という視点に立ち、教育課程を見直しています。失われた時間を取り戻すために、行事等をなくす「引き算」を行うのではなく、新たな視点で新たな取組を行う「足し算」をしていこう、と考えています。学習内容についても、不足した時数を補うための方策と効率化を図っています。子どもたちに負担をかけることなく、「確かな学力」をつけるために、少人数の利点を最大限に生かし、工夫をこらし教育活動を行っています。

「新しい時代」の到来という言葉がメディアで使われています。今いるこの子たちが社会で活躍する10年後、20年後、30年後の社会を見据え、「変化」の多い揺れ動く社会の中で、たくましく心豊かに生きていくために、「確かな学力」の本質を捉えつつ、小・中学校でできることを検討していきます。

ツバメの巣：その後……

学校の昇降口付近のツバメの巣の「その後」ですが、6月の学校再開後に、再度巣づくりを開始し、雛（ヒナ）たちの姿が見られるようになりました。今では、親鳥と変わらないくらいに大きくなった雛鳥が、エサをねだって大きな口を開けています。この雛鳥たちが巣立っていく日も近づいています。



小中合同会議 6/24



運動会と紅葉祭を同日に開催するにあたり、その日の呼び名やスロガンについて小学5年生から中学3年生で案を出し合

いました。「今年ならではの特別な1日を自分たちの手で作る」 今後も、合同会議は続きます。

学校林活動 6/16

6月16日(火)、好天に恵まれ、小中合同で足尾谷にある学校林に出かけました。

今年で10年目になる学校林活動、毎年どんどん大きく成長する木々を観察し、グループに分かれて高さを測定したり、葉の様子を観察したりしました。

【児童生徒作文】

・班のうちの一人が「10mはあるやろ」と言っていたクヌギは、約8mでした。意外と10mの壁は越えるのが難しそうです。次に見たときは、ぐいっともっと伸びていたら嬉しいです



小学校 体力チャレンジ 6/23

小学校では、「体力チャレンジ」と題して、各自が各種目に挑戦しました。記録を伸ばそうと工夫し、努力する姿が印象的でした。





7・8月の主な行事

- 7/1日(水) 合同あいさつ運動、○中：定例会
- 2日(木) ○中：専門委員会
- 3日(金) 小中合同会議、○小：委員会
- 7日(火) ○中：3年実力テスト
- 8日(水) 集金日、伊香立移動児童館
- 13日(月) 眼科検診
○小：ふれあい週間（～17日）
- 14日(火) 検尿回収（～15日）、耳鼻科検診
- 15日(水) 学校評価委員会
○中：進路説明会（～16日）
- 22日(水) 給食終了、学校運営協議会
- 23日(木) 海の日
- 24日(金) スポーツの日
- 27日(月) 弁当持参（～31日）
- 31日(金) 終業式、大掃除

- 8/3日(月) 夏休み開始
- 8日(土)～16日(日) 学校閉校日
- 24日(月) 2学期始業式（弁当持参）
- 25日(火) 給食開始、○中：3年実力テスト



木村泰子さん講演会を

10/26(月)に実施予定

6月20日に予定されていた「人権のつどい」が実施できなくなり、「木村泰子さんの講演会」を聴くことができなくなりました。そこで、学校として、平日に講演を依頼したところ、10月26日(月)の午後に来てくださることになりました。

木村泰子さんは、映画「みんなの学校」の舞台である大阪市立大空小学校の初代校長として、現場から教育改革に取り組んでこられました。学校は「先生が教える所」ではなく「子どもたちが学ぶ所」であるという信念のもと、「学力とは何か」「10年後に必要な力とは何か」など多くの示唆をいただき、著書も多くあります。

当日は体育館で、小・中学校の児童・生徒と保護者、地域関係者で密を防ぎながら講演会を実施する予定です。一人の人間として、「生き方」を考える良い機会であると思います。案内の文書は、2学期に配布しますが、多くの保護者の皆様の参加をお待ちしております。（新型コロナの状況により、予定が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。）



避難訓練 6/24



土砂災害を想定して、小・中学校で避難訓練を行いました。日頃から、訓練をして、いざという時に慌てず行動できるようにしています。子どもたちは、しっかり避難行動ができました。

中学校 「やまへ行こう！！」

やまで健康になるレイクスアクション

滋賀県の森林政策課が進める「やまの健康」推進プロジェクトの取組として、6月23日(火)に中学生が葛川キャンプ村で1日を過ごしました。プロバスケットボールチーム滋賀レイクスターズの選手2名の協力のもと、あまごつかみ、バーベキュー、伐倒体験、木工体験、ニュースポーツ体験を行いました。当日撮影された動画は、SNS等を活用して広く県内に発信されます。葛川の自然の魅力を発信する良い機会となりました。（動画のアップ時には、お知らせします。）



【生徒作文より】

今回のレイクスアクションでは、今までしたことがなく、する機会があまりないような貴重な体験をたくさんすることができました。また1日中外でいつもよりたくさん体を動かすことができました。はじめにした魚つかみでは1匹しかつかまえることができませんでしたが、レイクスターズの2人ともみんなとも協力して教え合いながら活動でき良かったです。また、あまり話さない中学1年生ともたくさん話せたし、いつも以上に仲良くなることができました。1日は正直疲れましたが、すごく良い経験になったし、楽しかったのが良かったです。